ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeyshimbun.jp

反民主主義行為捜査　公金で反民主主義デモを支援!!

大統領派４下議が割当金使い
最高裁の捜査命令で判明

３月以降、時にはボウソナロ大統領自身も参加して断続的に行われてきた、「反連邦議会・反最高裁」を主張する反民主主義デモに関し、約１５万レアルの公金が使われていたことが判明し、それを使った政治家の名前も具体的に報じられている。２２日付伯字サイトなどが報じている。

ユーチューバーに支払い

ビア・キシス下議（twitter）

反連邦議会・反最高裁デモをはじめとする反民主主義的なデモに関する捜査（家宅捜索）は、今月１６日に行われた。最高裁のアレシャンドレ・デ・モラエス判事は、デモを煽ったサイトやユーチューブ・チャンネルなどに公金提供が行われたか否かを調査するため、ボウソナロ派の連邦議員１１人の銀行口座の情報公開も命じた。

すると２２日、ボウソナロ大統領の側近らがデモの模様を報じさせるために公金を使っていたことを連邦検察庁がつきとめたことが報じられた。

同日付ＣＮＮブラジルなどによると、数百万人が閲覧する親ボウソナロ派のユーチューブ・チャンネル「フォーリャ・ポリチカ」と「フォコ・ド・ブラジル」は、デモにおけるボウソナロ大統領の演説などを流すことで、大統領支持者からの支援金や閲覧料、広告収入など、計１５万７千レアルを受け取っていたことが、押収された書類や明細書などによって明らかになったという。

また、グローボ紙は同日、これらの金の一部はボウソナロ大統領が所属していた社会自由党（ＰＳＬ）の下院議員４人の議員割当金から使われていたことを連邦検察庁がつきとめたと報じた。同紙によると、問題の下議はビア・キシス、ギガ・ペイショット、ジェネラル・ジラン、アリーネ・スレウジェスの４氏だ。

これらの公金は、反民主主義行為の捜査の際、主要人物の一人として家宅捜索を受けた、ボウソナロ氏が結成準備中の新党「ブラジル同盟」所属の広告業者セルジオ・リマ氏のＩＴ関連会社に支払われていたという。

モラエス判事は同日、反民主主義行為に関する捜査を許可するための材料となった詳細な情報も明らかにした。同判事によると、この日の捜査に関する不完全な情報が大量にマスコミに流れているためだ」だという。

モラエス判事は、捜査対象となった政治家などのネット上での発言を削除することも禁じた。削除を禁じられた発言の中には、アレ・シウヴァ下議（ＰＳＬ）の「軍政令第５条（ＡＩ５）や軍事介入は国民の切実な声」なども含まれる。

反民主主義的行為の捜査対象となった人物は２１人で、極右サイト「テルサ・リーヴレ」主宰者でブロガーのアラン・ドス・サントス氏をはじめとする捜査対象者らは、今月だけで約２１００件のユーチューブ動画を削除していた。これらの動画の大半は、一斉捜査が行われた１６日～今週末に削除されたという。

大統領とは異なる見解を表明した。同日付伯字サイトが報じている。

クリスチーナ農相は２３日、地球温暖化抑制を目指す気候関連団体のクリメート・ボンド・イニシアチヴ（ＣＢＩ）主催のネット上のイベントに参加した際、伯国の農地が国土全体の８％に過ぎないことをあげ、「生産可能な土地を見つける限界には達していない」と発言。「テクノロジーの力も借りれば、生産性を向上させることは可能だ」と語った。

森林伐採はボウソナロ大統領の就任以降、積極的に進められており、昨年８月には法定アマゾンでの森林伐採や森林火災が国際的な問題となっていた。法定アマゾンの森林伐採が拡大する傾向にあることで、最近は、欧米諸国などを中心に、クリスチーナ農相を森林伐採の責任者のひとりとみなす動きも出ていた。

なお、このイベントには、中銀のロベルト・カンポス・ネット総裁も参加。同総裁も、「伯国は（地球温暖化防止のための）カーボンクレジット交渉でも世界をリードする国になれる」として、伯国財界にとって、環境問題への対処は国際的な関心事であることを力説していた。

「伐採しなくても増産は可能」
テレーザ農相が国際会議で発言

テレーザ・クリスチーナ農相は２３日、「森林伐採をやらなくても伯国の食糧増産は可能」と発言。増産のための森林伐採を推奨するボウソナロ大統領はこのところ、自身を支持するデモや公式行事の際にマスクをしない姿が度々報じられており、支持者たちにも少なからぬ影響を与えていた。伯国ではコロナウイルスで５万人を超える死者が出ている状況。大統領としての自覚が求められる。

◎

リオ市では２２日から、ショッピングセンター内にある美容院の営業が再開された。営業規模（顧客の入場数）を通常の５０％以下に抑え、距離を２メートル以上取る、コーヒーを出さないなど、細かい規定の下での営業となる。聖市でも再開が近いとの噂がある上、３カ月以上、髪が切れない状況にいた人たちも多いだけに、気になる情報だ。

東西南北

２３日午前、１８日に逮捕されたファブリシオ・ケイロス容疑者の妻で逃走中のマルシア容疑者を巡る捜査が、彼女の親戚が住んでいるミナス・ジェライス州ベロ・オリゾンテなどを中心に行われた。彼女も夫同様、フラヴィオ・ボウソナロ上議のリオ州議時代の幽霊職員で、「ラシャジーニャ」疑惑に関与していた疑いが持たれている。ケイロス氏の所在やフラヴィオ氏担当弁護士だったフレデリック・ワセフ氏に関する疑惑も、彼女の携帯電話の通話記録で明らかになっているだけに気になるところ。これまではケイロス氏が行方不明になったことが話題だったが、話題の中心は逃亡中の夫人に移ったようだ。

◎

連邦直轄区の連邦地裁が２３日、ボウソナロ大統領に対し、外出時のマスクの着用を義務付ける暫定令を出した。もし、従わなければ、１日につき２千レアルの罰金が科されることになる。大統領はこのところ、自身を支持するデモや公式行事の際にマスクをしない姿が度々報じられており、支持者たちにも少なからぬ影響を与えていた。伯国ではコロナウイルスで５万人を超える死者が出ている状況。大統領としての自覚が求められる。

◎

リオ市では２２日から、ショッピングセンター内にある美容院の営業が再開された。営業規模（顧客の入場数）を通常の５０％以下に抑え、距離を２メートル以上取る、コーヒーを出さないなど、細かい規定の下での営業となる。聖市でも再開が近いとの噂がある上、３カ月以上、髪が切れない状況にいた人たちも多いだけに、気になる情報だ。

ウェイントラウビ
教育相肩書のまま渡米？
「逮捕逃れ」なら外交問題も

１８日に教育相退任を告げるビデオを公開したはずのアブラアン・ウェイントラウビ氏が、教育相の資格のままで米国に渡航。連邦政府が退任を発表したのは渡航後で、問題となっている。ウェイントラウビ氏には逮捕の可能性もあった。

２０～２３日付伯字サイトなどが報じている。

ウェイントラウビ氏は１９日夜、伯国を発ち、２０日、米国のマイアミに到着。現在も同国に滞在中だが、この行為が物議を醸している。

それは、ウェイントラウビ氏には逮捕される可能性があり、今回の渡航はそれを逃れるための戦略と見なす向きが少なくないためだ。同氏は、４月２２日の閣議で放った「最高裁判事は全員逮捕されるべき」をはじめとした暴言の数々で知られており、フェイクニュース捜査の対象に含まれることも決まっていた。

また、教育相辞任後のポストとして世界銀行の役員職が用意されたことも、「逮捕逃れの対策では」と囁かれていた。そうしたこともあり、政界では同氏の出国前から「パスポートを没収するべきだ」との声が実際にあがっていた。

ウェイントラウビ氏自身も、２２日朝、自身のＳＮＳで「多くの人の力で伯国を出国することができた」という、意味深なメッセージを米国から出している。

また、連邦政府官報もこの疑惑に拍車をかけている。それは、同氏が退任を発表したのは１８日だったにもかかわらず、１９日の官報にはそれが公示されず、同氏が伯国を出て、米国に到着した後の２０日に退任が公示されたためだ。

現在、米国は伯国からの一般人の入国を認めていないため、渡航するとしたら連邦政府の専用機を利用、または外交官などに支給される特別旅券で入国ということになる。大臣特権を活かして渡航した場合、最悪、追放の可能性もある。

２３日付連邦官報は、ウエイントラウビ氏退任の日付を１９日に訂正しており、米国入国時には教育相の肩書はなかったことになったため、外交上の問題ともなり得る。検察は既に、外務省の関与なども含めた捜査をはじめている。

また、世界銀行の役職を得るためには加盟国８カ国以上の承認が必要だが、世銀内部では、ウェイントラウビ氏の承認拒否を呼びかける動きも起こっているという。

ウェイントラウビ氏（Marcelo Camargo/Agencia Brasil）

コロナ禍
検査不足の実態が随所で露呈
聖市の感染者は１２０万？

【既報関連】伯国では新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で隔離緩和が起きているが、世界保健機関（ＷＨＯ）が２２日、改めて、伯国での検査不足への懸念を表明。それを裏付けるかのように、聖市の感染者は１２０万人との声が出ていると２２、２３日付伯字紙、サイトが報じた。

２２日夜の保健省発表による感染者数は前日比２万１４３２人（１・９８％）増の１１０万６４７０人、死者数は６５４人（１・２９％）増の５万１２７１人だった。

だが、登録システムのトラブルで登録不能だった感染者が追加登録されたのを受け、１９日に感染者が５万４７７１人増えた事は、その直前に発表された、「伯国の感染拡大は小康状態に入ったようだ」とのＷＨＯの見解や信頼を覆した。

それもあってか、ＷＨＯは改めて、伯国では検査不足との見解を表明。集団検査を実施した国々の陽性率は５％未満だったのに、伯国では３１％が陽性との結果が出ているためだ。伯国では、ウイルスの有無を調べるＰＣＲ検査を重症者中心に行い、医療従事者や治安従事者には抗体検査も含む数種類の検査を行うという方法で、１１０万人感染との結果を得ている。

第２の波の予告も出始める

この方法では、無症状の感染者や軽症で自宅隔離を行った感染者の実態把握は不十分といえる。

保健省が公式発表する数字が実態を示していない事は、各種の調査でも言われている。２３日には聖市市役所が、今月１０日に始めた調査の結果、公式の感染者数は１２万人だが、実際の感染者は１２０万人に及ぶ可能性があると発表。同調査は９６区に住む１８歳以上の市民５４１６人を無作為抽出して行った抗体検査によるもので、市役所は１５日毎に、同様の調査を行う意向だ。

なお、２２日の州保健局発表によると、聖市の感染者数は初めて内陸部の総数を下回った。聖市では臨時病院閉鎖を検討する動きも出ている。

ミナス州も検査不足が深刻な例だ。同州では呼吸器疾患による死者が多く、集中治療室占有率も上昇中だが、２２日現在の感染者数は２万８９１８人で１００万人あたりの感染者は１３６６人、死者数も６８８人で死亡率は３３人／１００万人だ。だが、同州での検査数は１０万人あたり１５５件で、アマパー州の４４３３件／１０万人の約３０分の１で、実態が把握出来ているとは言い難い。同州に次いで検査率が低いのはリオ州の３１８件／１０万人で、ミナス州は半分以下だ。

なお、検査率は３３４４件／１０万人で全国２位、一時は医療崩壊が言われたが、現在は他州の患者を受け入れるゆとりも出てきたアマゾナス州では、段階的隔離緩和により、７～８月にマナウス市で新たなピークが起きる可能性があるとの警告が出た。アマゾナス連邦大学によると、新たなピークが起きれば、マナウス市だけで２０万人が感染、３千人が死亡する可能性があるという。

なお、南大河州では隔離緩和後の感染拡大で、ショッピングセンターなどを再閉鎖。ピアウイ州も２２日、実態調査で推定される感染者数倍増を理由に、隔離緩和を先延ばしすると発表した。

聖州政府が実施中の集団検査で採取された高齢者の検体（Governo do Estado de São Paulo）

確定申告は３０日までに
コロナ禍で申告期間延長中

コロナウイルスの感染拡大で経済活動などが止まった事を受け、２０１９年の所得に関する確定申告期間を今月３０日まで延長しているので、まだ申告していない人は急いで申告するよう、国税庁が促している。

確定申告は通常、４月末日までに行わなければならないが、今年はコロナ禍のために、申告期間が延長された。外出自粛令などで思うように動けず、申告漏れとなったと思っていた人は、まだ間に合うので、急いで申告するとよい。

国税庁は、今年の確定申告者は３２００万人と想定しているが、３月末日までに申告した人は、約２５％の８１０万人だけだった。国税庁によると、２３日現在もまだ、１５００万人が申告を行っていないという。

確定申告は全て、インターネットを利用して行わなければならないため、必要ならば、会計士や会計事務所の助けをあおぐとよい。

他方、既に確定申告を済ませた人で、税金の払い戻しなどの対象となる人への手続きは当初の予定通り行われており、５月２９日以降、９月３０日までの５回、毎月最後の営業日に、払い戻しが行われる。

６月３０日の払い戻しの対象者は、高齢者や障がい者ら計３００万人以上とされ、過去最多の５７億レアルが払い戻しのために準備されているという。

聖市での本の国際市延期に

２年に１度開催される聖市の本の国際見本市（Bienal do Livro de Sao Paulo）が、コロナ禍のために延期されたと２０日付エスタード紙が報じた。同見本市は毎回、約６０万人が訪れ、伯国で最も盛況な文学関連のイベントだ。今年の見本市は１０月３０～１１月８日の予定だったが、２０２２年（詳細な日程は未定）に延期となった。

□緊急時の連絡先□

●サンパウロ日伯援護協会「本部事務局」
TEL: (11) 3274-6483
朝８時から午後５時まで。日本語対応可。相談内容に応じて、福祉士などに回す。

●サンタクルス病院
「新型コロナウイルス感染症の緊急外来受診のためのコールセンター」
TEL: (11) 97572-4602　日本語対応、24時間。

●万が一、医療機関等に隔離され、日本政府の援護が必要な場合の在外公館の連絡先リスト

⇒**在ブラジル大使館（連邦区、ゴイアス州、トカンチンス州）**
代表電話 (61) 3442-4200 ／ 夜間連絡先：ブラジル国内から（地域番号なし）4003-2142
サイト： https://www.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在サンパウロ総領事館（サンパウロ州、マト・グロッソ州、マト・グロッソ・ド・スール州、三角ミナス地域）**
代表電話 (11) 3254-0100　サイト：https://www.sp.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在クリチバ総領事館（パラナ州、サンタ・カタリーナ州）**
代表電話 (41) 3322-4919　サイト：https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在ベレン領事事務所（パラ州、マラニョン州、アマパ州、ピアウイ州）**
代表電話 (91) 3249-3344　サイト：https://www.belem.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在リオデジャネイロ総領事館（リオデジャネイロ州、エスピリト・サント州、ミナス・ジェライス州）**
代表電話：(41) 3322-4919 ／ 受付時間外及び休館日：ブラジル国内から (0) 21-3461-9595
サイト：https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在ポルトアレグレ領事事務所（リオ・グランデ・ド・スール州）**
代表電話：(51) 3334-1299　サイト：https://www.curitiba.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000040.html

⇒**在マナウス総領事館（アマゾナス州、ロンドニア州、ロライマ州、アクレ州）**
代表電話：(92) 3232-2000　サイト：https://www.manaus.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

⇒**在レシフェ総領事館（セアラー州、リオ・グランデ・ド・ノルテ州、セルジッペ州、ペルナンブコ州、アラゴアス州、バイア州、パライバ州）**
代表電話：(81) 3049-8300　サイト：https://www.recife.br.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

聖州ノロエステ地方編

自粛生活の心がけを聞く

活動全停止、ユバ出荷4割減

「ノロエステ連合も新型コロナの影響で各イベントが中止となっています。この生活が続くと文協の維持も厳しくなる」一方ですね」―ノロエステ連合日伯文化協会会長の安永信一さん（三世・72歳）は、そう電話口で語った。外出自粛措置から早3カ月――。自粛生活の過ごし方や心がけについて、今回は聖州ノロエステ地方在住者に電話取材をしてみた。

安永信一会長

白石一資前会長

ノロエステ地方も自粛生活を余儀なくされており、毎年恒例の主催イベントも中止になっている。「コロナで毎年恒例の運動会や盆踊り、焼きそば会などが中止になりました。各文協が主催する陸上部やカラオケ・ゲートボール・太鼓・野球などの部会イベントも、しばらく中止です。文協としてイベント収益が入らないので文協維持が大変です」と述べた。

高齢者については、「ノロエステはご老人が多いので本当に心配です。ましてや自粛生活で外出禁止。イベント中止により高齢者の憩いの場もないので、ストレスが溜まる一方でしょう」と不安げに語った。

安永さん個人としては、自粛生活を今までできなかったことを整理する時間に使っている。

「今まで忙しくてできなかった用事を片付けたり整理しています。自粛生活で皆さん大変だと思いますが、この期間を利用して中々できなかった整理等してみるのはどうでしょう。ユーチューブなどで歌手やテレビの映像等をみて気晴らしすることも大切ですよ」と自粛期間の生活を語った。

同連合前会長の白石一資さん（二世・85歳）にも自粛生活の心がけを聞くと、こう語った。

「コロナ災禍で政治家がいがみ合ったりしているが、こういう時こそお互い理解し団結しなければなりません。この災禍も人間への戒めと噛み締めて生活しています」と述べ、また日常の些細なことにありがたみを感じる思考方法を勧めた。

「日頃から食事が出来ることも、元気に体を動かすことができるのも神様あってのこと。日頃当たり前に慣れて気が付かないでしょうが、今一度感謝してこの自粛生活を乗り越えましょう」

アリアンサのユバ農場在住の弓場的さん（二世・60歳）は現況をこう語った。

ユバ農場クリスマスの集いの様子「和太鼓を表現したバレエ」（参考写真）

「週2回、街のスーパーに果物を出荷しているのですが、コロナの影響で3月から注文が4割減りました。日頃は日本人旅行者などを受け入れ、農作業を手伝ってもらうかわりに、食事や宿泊を提供していますが、今はコロナを懸念して一切外部から受け入れしていません。もちろん弓場農場から外にでるのも必要最低限にしています」とのこと。

コロナへの懸念として、「現状ユバにはコロナは入っていません。果物の出荷から帰ってきたときは、必ず手や服等をアルコールで殺菌しています。出荷量が減ることも問題ですが、それより怖いのはユバ内にコロナが入ることです。もし入ったら卸先から出荷を断られ収入が無くなりますので…。何としてもコロナを農場にいれてはいけないと思いながら皆頑張ってますよ」

そしてストレスについては「自粛と言っても農場内で魚釣りもでき、家に籠もりきりではないので、私の世代はまだストレスは少ないです。ただ、農場内の血気盛んな若者は、よく土曜の晩に街に遊びにいったりしていたので、そういう気晴らしができないのは気の毒ですね…」と語り、「どこも大変ですが、身の回りでできることでストレス発散するよう工夫が大切ですね。私は特に料理を作るのが好きなので、趣味の料理でストレスを和らげています」と語った。

大耳小耳

ノロエステ連合が主催する盆踊り大会は、今年で58回目になるという。毎回参加者は3～4千人にのぼり、ノロエステ中から大勢集まる大イベントだ。例年8月末だが、今年はどうなるか。もしもコロナ災禍が終息していれば、祝いも兼ねて例年よりも盛大に行われるかも？

◎

MAFプロジェクトの炊き出し弁当配布の際、コロナ感染を避けるために、受け取りの列には間隔をあけるよう住民に指示し、アルコールジェルやマスクなども用意された。地域住民コミュニティーによる協力も大きく「ボランティアも受け取る側も安全を保つために不可欠でした」と白石さんは語る。その場の飢えを凌ぐだけではなく自立のための活動へ繋げており、ボランティアと地域の信頼関係も根付いているようだ。

村上さんに楽書倶楽部大賞

節目の創刊10周年記念

日毎叢書企画出版により『楽書倶楽部』第53号が15日付で刊行され、第2回「楽書倶楽部大賞」が発表され、村上尚子さん（81歳・福岡県）が1位に選ばれた。これは2019年に5冊発行された同誌に掲載された全作品から、一番気に入った著者を読者に選んでもらうもの。

村上さんの作品の中でも、福岡で過ごした女子高校生時代、炭鉱夫が出勤する様子などを描いた「帰ってきなはい」が特に好評だったと、発行者の前園博子さんは報告する。村上さんは「書き始めて7年になるが、ワクワクしながらあっという間に書いたのはこの作品が初めて。その想いが皆に伝わったかと思うと嬉しい」と喜んだ。

村上尚子さん

村上さんに文章指導したのは、昨年1位の広川和子さんだった。マッサージ師を生業とする村上さんは「広川さんの文書指導の言葉は、まるでお灸のようにポンとツボに響く。これも運良く素晴らしい指導を頂いたおかげ」と独特の表現で感謝する。

次の夢を尋ねると、すかさず「小説をもう一冊書くこと」と答え、聖市を舞台にしたディストピア世界の構想を意気揚々と語り始めた。

今回の大賞は、読者から届いた62通の選考用紙を1月26日に開封した結果、2位は広川和子さん、3位は堀江渚さんだった。本来は、創刊10周年を記念した親睦会が4月26日に開かれて、そこで授賞式となる予定だったが、コロナのために流れた。

今53号にも33作の読み応えのあるエッセイが掲載されている。例えば「コロナ禍で家からでないと」（伊藤喜代子）では、夫の昔話の聞き役となってパラー州時代の不思議な体験談を綴る。何百万という黒いアリの大群が、虎の子のヒヨコ小屋に迫ってくる恐怖、その後に起きた実に意外な展開が記される。

また「行きはよいよい帰りは怖いの話」（細井まゆみ）では、リオのポン・デ・アスーカルの手前のウルカの丘に歩いて登る話。行きは調子よく登ったが、帰りに調子にのりすぎ、《うわぁ！」と言う私の叫び声とママ―！という娘の悲鳴と同時に勢い余ってあわや崖から海の中に！！》という緊迫した場面に。

同誌に関心のある人は、同企画出版（11・3341・2113）まで連絡を。

伯日商工会議所の定例会と忘年会中止のお知らせ

ブラジル日本商工会議所は6月19日、ブラジルにおける新型コロナウイルス感染状況長期化による感染防止のため、7月以降の昼食会及び12月に開催予定の忘年会の中止を発表した。

なお、8月開催予定の業種別部会長シンポジウムおよびその為に行う部会懇談会等の開催は、各部会長への意見を取りまとめた上で、開催可否について決定するとのこと。

白石テルマ

貧困者に無料弁当を配給支援

6千食終了、さらに1万2千食も

「炊き出しと聞いて住民の皆さんは『なんで？信じられない』といった様子でした」――ニッパキ紙の取材に対し、「Movimento Água no Feijão」（以後、MAF）発案者である白石テルマさんは聖市の貧困地区エリオポリスへ炊き出し弁当を届けはじめた日を振り返る。「政府ですら手を差し伸べず、どうせ誰も助けてくれないという失望のみが当初溢れていました」と支援活動で目の当たりにした厳しい現状を語った。

MAFプロジェクトは、貧困層に毎日食料支援をするために、オンライン募金で集まった資金で5月8日から現地で炊き出しを開始した。様々な団体から50人のボランティアが集まり、貧困者20万人が住むという同地区を中心に、サウーデ区のマウロ1、2エリアなどへ毎日200食を届けた。

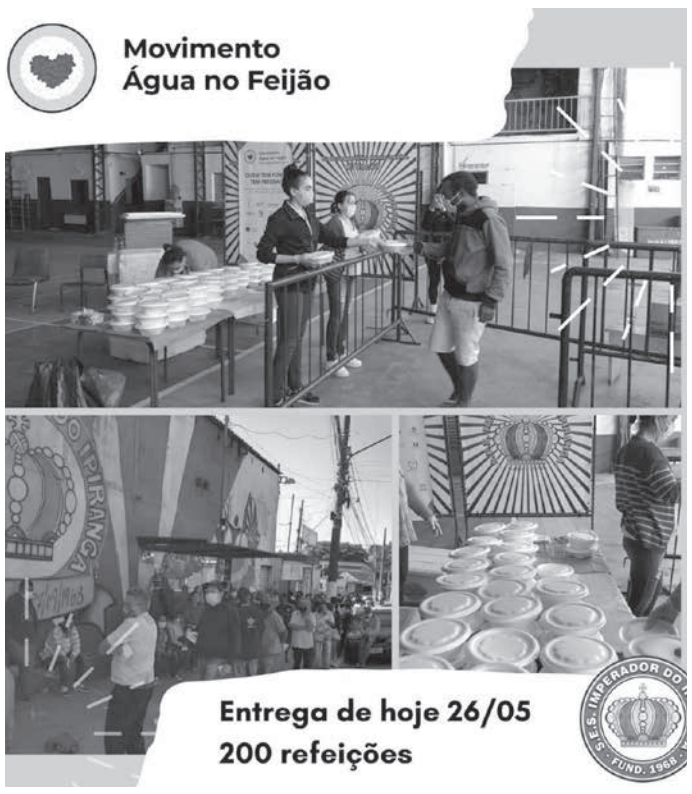
同プロジェクトは日本食レストラン「藍染」のオーナー兼シェフの白石テルマさんが発起人になり、ジャパンハウス（JH、エリック・アレシャンドレ・クルツグ館長）とブラジル日本文化福祉協会（石川レナト会長）が後援、多くの団体がボランティアに参加した。

30日間で6000食を配布するというプロジェクトを無事完遂したものの、未だ多くの人が飢えに苦しんでいる現状があり、さらに7月までのプロジェクト延長を決定した。今後は配布拠点であるエリオポリス地区にあるサンバ教室 Imperador do Ipiranga da escolaで区内住民をサポートメンバーに迎え、炊き出しを作っていく予定。

「例えるなら魚を与えながら釣り方も教えるといった試みです」と白石さんは目標を語る。これにより住人達が生産ルーティーンや食品衛生、栄養に関する知識や技術を習得することで、生活手段を得るきっかけとなり長期的メリットとなるのではと考えている。

ボランティアで参加したのは、ブラジル日本青年会議所（JCI・BJ、和田ルドルフ理事長）、文協青年部（ラファエル・ペターセン部長）、日伯文化連盟（アリアンサ、吉田エドアルド会長）国際キフ機構（小山田真会長）、サンパウロ大学生援護連盟（ABEUNI）、ASEBEX（日本元研修生留学生協会、ナタリヤ・ナカムラ・ゴウヴェイア会長）、JICA研修員OB会（ABJICA）といった日系団体を中心に幅広い団体が名を連ねる。

募金も引き続き受け付けている。8レアルで1人分の弁当が支援できる。資金だけでなく弁当の容器や食器の物資支援も受け付けている。詳細と寄付は以下から（サイト＝https://www.aguanofeijao.org.br/?lang=ja）。サイトは一部日本語に対応している。



フェイスブックで掲載されている活動報告画像

いろんな痛みと病気に 針灸 ACUPUNTURA
Dra. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で針灸学を専攻いたしました
電気鍼療法
もぐさ、レーザー
磁石による治療
体重減少にも効果的
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsAPP"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

（3）

限られた世界で、限られた生き方しかしてこなかった人々にとって、この茫漠とした、掴みどころのない大地で新しい生活を築き上げていくことは、彼らのそれまで持っていた価値観や固定観念を、一度かなぐり捨てるようにして放棄することを意味した。そして、それを受け入れることは至難の技だったといっていい。

それが出来るということは、精神的にかなり強靭であるということなのだが、大半の人々は、そこまでの強さは持ち合わせていない。永住という、長いスパンで移民というものを考えている人々は、それほどでもなかったが、いわゆる一攫千金の面でしか移民というものを捉えていない人間にとって、このとてつもない広さを持つ新世界に吹く風は、あまりにも強烈すぎて、それに耐えるだけの力は持ち合わせていなかった。文字通り、それらの人々は、その軽さゆえに強風に吹き飛ばされてしまうことになった。

一口に移民と言っても、そこには様々な人々が存在し、様々な人生模様が展開されていく。どれ一つ同じものはなく、また誰一人、同じ軌跡を辿る者もない。

それでも、全体としては、大体、似たような傾向を持つ流れが、それぞれに作られていく。そこに現れるのは、ある種、運命的なものともいえそうである。

この物語にも、いわゆる運命的なものが存在する。

存在するという断言的な表現が、いささかオーバーなことは承知だが、偶然の邂逅から始まっていく展開は、個人の意志を超えたレベルでの、何かが介在していたとしか思えない雰囲気を持つものでもあった。

さて、この物語の主人公は、以上に述べたような、外国からやって来た移民たちの一人ではない。名前を、マルコス・ラザリーニといい、生粋のブラジル人である。

ただ、厳密に言えば彼は移民の末裔であり、その意味では、移民との繋がりが存続しているはといえるかもしれない。が、彼の意識の中にあるものは、あくまでブラジル人としての感覚であり、それ以外の何ものでもない。

マルコスの祖父は、青年のときにイタリアからブラジルに移民としてやって来て、サンパウロ州の奥地でも北の地方に当たるリベイロン・プレットという町の近郊にあるコーヒー農場に雇われ、この時代の移民たちと同様、コーヒーの収穫の仕事に従事した。

以後、独立をすると同時に結婚し、ポーランド系の奥さんの家族と一緒に、サンパウロ州の北西を意味するノロエステ鉄道の沿線にあるバウルーの町に引っ越して来て、その近郊で自営農を始めた。自営農といっても、この時代、この辺りはすべて原生林であったから木を切り倒すという作業から始まる、いわゆる開拓者としての生活であった。

まだ、十九世紀後半の時代のことである。

もっとも、彼らと共に多くの外国からの移民の人々がこの地方に入り込んできていたから、孤軍奮闘ということではなく、同じような環境での生活を一緒にする、いわゆる移民たちのコミュニティのような形が、そこには作られていった。ここで何とか土地を増やしつつ、コーヒーの他に、とうもろこしや綿の栽培を広げていった。

マルコスの父はここで生まれ育ったわけだが、祖父の後を受け継いだ後、順調に農場の成績を伸ばしていき、この地方としては、中堅の規模の農場までに成長させた。

若年層の雇用に大打撃

パンデミックと不況により７９０万人が失業危機

楽観的観測も抱けず

現在の若年層は、大統領の弾劾と新型コロナウイルスのパンデミックを含め、わずか7年の間に、少なくとも2度の深刻な経済危機に直面していることになる。この一連の経済危機は労働市場に深刻な影響を与えた。若年層（14歳から25歳）の失業率は、2014年から2018年にかけて、ほぼ2倍に上昇しただけでなく、今後数カ月で記録的水準に達する見込みだ。

コスモ・ドナット氏

伯国地理統計院（IBGE）の調査を基にLCAコンスルトーレスが実施した分析によると、若年層の雇用状況の悪化は、財政危機が引き金となってリセッション入りした2014年に始まった。2014年には14・5％だった若年層の失業率は、2018年には26％に上昇し、総失業人口も540万人に達した。

こうした状況にパンデミックが加わったことで、LCAは2020年第1四半期（1―3月期）の若年層の失業率を27・7％、さらに第3四半期には38・3％まで上昇すると予想している。この見通し通りに若年層の失業率が推移すれば、14歳から25歳で就職を希望する若年層の失業者は、現在の550万人から790万人に大きく膨らむことになる。

例えば、ブレノ・ロドリゲス・ソウト氏（21）は、この550万人の失業者の1人だ。リオ州立大学（UERJ）の文学部の学生で、最近まで、配車アプリのドライバーとして働いていたが、社会的隔離措置の導入により顧客を失った。収入は月額1500レアル前後だったが、数日前にゼロになった。

配車アプリのドライバーは、ブラジルで不況が長引いた結果でもあった。工業社会福祉機構／工業技術統合センターのゲームデザイン技術講習を受けていた19歳の時、ブレノ氏は最初の雇用をこの分野で得ようと試みたが、企業から色よい返事は得られなかった。「この市場は、成長していなかった」という。そこで、2019年には不動産業界や小売店を対象に求職活動もした。

現在はリオ大都市圏にある伯母の家と母親の家を行き来して、家族から生活費の支援を受けて暮らしている。連邦政府から600レアルの緊急支援を受けたが、状況を楽観視していない。「労働市場が改善することはないと思う」という。

今回の分析をまとめたLCAコンスルトーレスのコスモ・ドナット氏は、今後数カ月であらゆる年齢層に失業の波が押し寄せると予想する。だが、その影響を最も強く受けるのは若年労働者だという。

同氏によると、就労期間が短く、賃金も安いため、企業にとって解雇の資金的負担が小さくなるためだ。また、平均して、経験が少なく、技術水準が低いことも、若年層の解雇を後押しする要因だという。（15日付掲載）

ブラジルビジネス B-side

名目赤字はGDP比約16％

EIUが厳しい研究結果発表

新型コロナウイルスのパンデミックとその後の不況によって、事実上、2020年に世界のすべての国々で歳入が落ち込むことになり、各国の公会計は世界的に悪化する。

だが、パンデミックが発生する以前から深刻な状況が続いていた伯国の財政赤字はきわだってきびしいものとなり、財政と国内経済の方向性に対する投資家の信頼を脅かすものになると見られる。

イギリスのEIU（エコノミック・インテリジェンス・ユニット）はこのほど、伯国の名目赤字（歳入から利払いを考慮した歳出を差し引いた場合の赤字額）が2020年にGDP比16・3％を記録するという研究結果を発表した。伯国としても過去最悪というだけでなく、EIUは、同様に研究対象となったその他の42カ国と比較しても際立って高い驚くべき水準だと指摘した。

伯国の赤字水準は、パンデミックに対して強力な包括的対策を講じているイギリス（14・1％）やアメリカ（14・0％）を上回る。しかも、コロナの感染拡大状況が深刻な他の南米諸国、例えばペルー（13・2％）とチリ（11・0％）も上回る。同様に他の新興国との比較でも、南ア（12・4％）とインド（7・4％）を上回った。

EIUの予測に基づくと、伯国の名目赤字の肥大は、GDP比11・9％に及ぶ基礎的財政収支の赤字と、GDP比4・4％に相当する利払いの影響を受けたものである。

また、その他の財務状況に関しては、政府総債務残高についても、2019年末にGDP比76・5％だったものが、2020年末には97・6％に達すると、EIUは予想している。（18日付掲載）

トヨタ

パンデミックでも１０億レ投資

「あきらめたくない」と本部長

新型コロナウイルスのパンデミックが伯国にも波及し始めるとすぐ、自動車メーカー各社が講じた最初の対策は、伯国に対する投資計画の中止、あるいは延期だった。

だが、すべてのメーカーがこの方向に進んだわけではない。トヨタは、聖州ソロカバ工場に10億レアルを投資する計画の維持を決定した。これに伴い、2021年半ばの販売開始を予定する新型車の開発という、この投資の対象となっている計画も維持した。

バロール紙とのインタビューで、トヨタの井上雅宏中南米本部長はバロール紙に対し、パンデミックをこの重要なプロジェクトの先送りに対する言い訳にして良いわけがないという考えを示した。「私は、あきらめたくない。そのために奔走した。伯国にとって良いことだと思うし、良いことなら計画通りに推進すべきだ」と同本部長はコメントした。

新型車のプロジェクトは聖州のジョアン・ドリア知事が2019年9月に訪日したのに合わせて発表されたが、詳細については2020年末まで秘密とされている。

伯国内に4カ所あるトヨタの工場が操業を再開するのは6月第4週だ。コロナの感染拡大を理由に、ほぼ3カ月にわたって操業を停止しており、同社の操業再開は業界でも後発組となる。井上本部長は、もっと早く操業再開を前倒ししたいという気持ちはあったが、同社のディーラーとの話し合いの中で、市場が十分に回復していないと受け止めたという。同本部長は毎日、1社か2社のディーラーとの協議を欠かさない。

こうした中で喜ばしいニュースのひとつは、ハイラックスを製造するアルゼンチン工場が5月18日に操業を再開したことだ。ハイラックスは、井上本部長によると、伯国だけでなくアルゼンチンでも、自動車市場全体の業績を上回る売れ行きを記録しており、ブエノスアイレス大都市圏サラテの早々の操業再開につながった。この種の車両の堅調な販売は、両国のアグリビジネス活動が堅調な結果だと井上本部長は指摘した。（16日付掲載）

トヨタの井上雅宏中南米本部長

レンタカー

運営会社の車両税は運営州で

利用者が責任を負う可能性も

連邦最高裁判所は、レンタカー会社が支払う車両税（IPVA）について、顧客のために車両を運用している州で納付すべきとした判決を下した。また、車両を保有するレンタカー会社が納税を怠った場合、利用者がその責任を負う可能性があることも今回の判決で示した。

今回の判決は州財政に影響するだけでなく、業界企業がまとまり、ロビーを展開する可能性も出てきた。複数の専門家によると、レンタカー会社は多くの場合、全ての車両を本社を置く単一の州で車両登録しているという。

伯国レンタカー協会（Ａｂｌａ）によると、国内でレンタカー業務に使用される車両の6％は、ミナス・ジェライス州で車両登録が行われている。その理由は、南米で業界大手の一角を占め、20万台以上を運用しているロカリザが、同州に本社を置いているからだ。

ミナス・ジェライス州はレンタカー会社に対してIPCAの減税策を導入している。同様の減税策は、リオ州とサンパウロ州も採用している。

今回の判決は、全国財・サービス・観光商業連合（CNC）を原告とする違憲直接訴訟に対するもので、CNCは、他州に所在地を置く企業が所有し、他州で登録された車両であっても、運用している州においてIPVAを納付するとしたサンタカタリーナ州法が違憲と訴えていた。

「車両の利用に対してIPVAを納付すべき義務が生じるのではなく、所有者がその財を保持し続ける所有物に対して発生するのだ。車両登録及び使用許可証が税金の根拠になる」と、今回の訴訟の原告のひとりで、全国車両レンタル会社協会の弁護士を務めるダニエル・モンテイロ・ペイショット弁護士はコメントした。（17日付掲載）

大豆種子への投資が拡大

作付面積の拡大率を上回る

スパーク・インテリジェンシア・エストラテジカの調査によると、2019／20農年は、国内の大豆生産者による大豆種子への投資が拡大した。このほど収穫が終了した今農年、大豆種子市場は2018／19農年比7・5％増の112億レアル規模で、作付面積の拡大率を上回る伸びだという。ドル換算でも、全農年比3％増の28億ドルを記録した。

同社の調査は、3500人の生産者を対象に実施したもので、作付面積は全農年比2・4％増の3590万ヘクタールだった。この数字は、国家配給公社（Ｃｏｎａｂ）がまとめた推計データに近似している。Ｃｏｎａｂは2019／20農年の作付面積について、前農年比2・7％増の3680万ヘクタールと推定している。

スパークによると、国内大豆生産を州別にみると、マット・グロッソ州が最大の面積を誇り、全体の28％を占めた。これに、リオ・グランデ・ド・スル州（18％）とサンタカタリーナ州（18％）が並び、パラナ州（15％）と続く。マピトバパの大豆生産ベルトの作付面積は全体の13％、ゴイアス州と南マット・グロッソ州、聖州／ミナス・ジェライス州の大豆生産ベルトは25％を占めた。（19日付掲載）

ラ米向けのFDIが半減

国連貿易開発会議が予想

国連貿易開発会議（ＵＮＣＴＡＤ）は、2020年のラテン・アメリカに対する外国直接投資（ＦＤＩ）は1640億ドルで、前年比で半減すると予想している。域内最大の経済国である伯国へのFDIは、政界の先行き不透明感と新型コロナウイルスの大流行などが影響し、「大きな打撃を受ける」としている。また、伯国に対するFDIが回復に向かうのは2022年になる見込みだという。

2020年版世界投資報告書で示したもので、世界的に見るとFDIは、2020年に前年比40％減となり、過去20年間で最低水準にとどまるとＵＮＣＴＡＤは予想している。

地域別に見ると、最も大きな打撃を受けるのがラテン・アメリカで、約800億ドル減少するという。「構造的な脆弱性によって、出発点から相対的に安定を欠き、政治面の先行きが不透明なことも、この地域をリスクに曝す要因になる」という。

ＵＮＣＴＡＤによると、パンデミックは、政治面と社会面、構造的脆弱さに対する混乱を引き起こし、「地域経済を深刻な不況へと追い立て、外資を呼び込もうとする取り組みにも痛手を負わせる」という。

その上で、伯国は2019年に前年比20％増のFDIを誘致し、「非常に良好な成果を収めた」としつつも、現状は、先行きの不透明感に加えて不安感が拡大しており、厳しい局面に立たされると受け止めている。

ＵＮＣＴＡＤによると、伯国は2019年に、石油及びガス業界と電力業界を中心にFDIを呼び込んだ。同年1～9月だけで、政府は200億ドル規模の民営化と公社資産の売却を行い、インフラの直接的な事業展開でも14億ドルの投資を誘致。ペトロブラス保有の鉱区を中心に天然資源の売却でも30億ドルを呼び込んだ。（16日付掲載）

「営業時間を６時間に」

小売業界が市に圧力かける

小売業界の経営者らが15日にオンライン・セミナーを開催し、聖市のショッピング・センターの営業時間に関して、現在の特定の4時間に限るという条件を緩和するよう求めた。

業界の要望は、新型コロナウイルスの隔離措置の段階的緩和を進める聖市市役所に対し、6時間の営業を認める「イエロー・フェーズ」へ感染状況の判断を1ステップ緩和するか、「オレンジ・フェーズ」での規定を変更することを意味する。

業界の経営者らは同様に、路面店のある道路上で、人々が密集するのを避ける対策を行政が講じるよう求めた。セミナーには、小売業界の経営者だけでなく、一部の市議も参加した。（19日付掲載）

小売業界の経営者らが懸念しているのは、ショッピング・センターの営業時間が限定的な状況下で買い物客が集中することと、大衆的な商店街で密集状態となり、感染状況判断が現在の「オレンジ・フェーズ」から商店の対面営業活動の休止が求められる「レッド・フェーズ」に逆戻りする可能性があることだ。

サンパウロ商業協会（ＡＣＳＰ）のアルフレッド・コタイト・ネット会長は、「そうなれば、決定的な災厄だ」と話している。（16日付掲載）

競争力のランクは３つ上がるも

スイスのＩＭＤが計測する競争力ランキングで、伯国が4年連続で順位を上げた。ただし、絶対的な順位は依然として下位グループのままだ。

ＩＭＤによると、2020年は前年から3ランク上昇して63か国中56位。引き続き競争力の低い国々に位置付けられており、世界貿易と投資先としての魅力、教育では競争力を低下させた。特に、教育では最下位となった。

相対的に順位は上昇したものの、総合得点は100点満点中59点から56点に後退した。すなわち、伯国の順位の上昇は、その他の国が伯国以上に競争力を悪化させたためだ。

伯国が順位を大きく伸ばした項目はビジネス効率で、57位から47位に上昇した。そのほかにも、経済のパフォーマンス（56位）、行政の効率（61位）、インフラ（53位）で改善を見た。

今回の研究では、伯国が競争力を高め、順位を引き上げられるかは、教育に依存していると指摘された。同様のことは、経済開発協力機構（ＯＥＣＤ）の学習到達度調査（ＰＩＳＡ）などでも指摘されている。（17日付掲載）

B-side
経済ニュース速報 & データベース
・ コピー＆ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
・ データベース化された情報を利用したい
・ 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報を入手・交換したい
そんな「したい」を、B-Side Solutions がお手伝いいたします。
効率的に連携させて効果的な利用が可能です
お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。
Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 http://b-side.brasilforum.com / b-side@brasilforum.com

B-side からのおしらせ

龍谷大学同窓会南米支部が発足

龍谷大学経済学部１期生（昭和 40 年卒）でパラグアイ在住の島崎允也（しまざき・）氏が発起人となり、さる６月 10 日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学 OB により龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。。

南米支部は当面、社会学部２期生（平成５年卒）の美代賢志（みよ・けんじ）氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OB リストへの登録を希望する方は kenji_miyo@hotmail.com までメールにて連絡ください。

クリッピング調査や翻訳もお任せください

ニッケイ俳壇

伊那　宏　選

（1069）

蔓サンジョンときどき貨車が通るのみ　ソロカバ　前田　昌弘

〔この蔓性の植物は冬（乾季）になると橙色した房状の優雅で繊細な花を咲かせる。草木に絡んだり牧場のバラ鉄線に絡んだりして殺伐とした冬の枯野を彩る。聖ジョン祭頃に咲くのでその名があるという。冬枯れの大平原を〈ときどき貨車が通るのみ〉と詠って、何十両編成の貨物列車がゆっくりと通りゆく大陸の悠然たる風景を描いた一句である。この季語はブラジル特有のもので、多くの俳人によって、詩情豊かな独特の雰囲気を醸すブラジル俳句が生み出されているのは周知のこと。本句、客観描写に徹して揺るぎない句になった〕

ブラジルに紅葉の錦見るは希れ　吉田しのぶ
安全靴安全帽で栗拾い　サンパウロ
湖涸れて浮き桟橋は役立たず
冬そうび窓際族とは言わせぬぞ

祖国よりメールで届くコロナ危惧　猪野みつえ

〔現在、ブラジルのコロナニュースは世界でも注視されている。その爆発的蔓延状況を危惧する日本に住む人からのメールを、先日私も頂いた。まさかという意外性と収拾のつかぬ政治の混乱に驚いている。国民全員がどうして良いのか分からないといった状態の中で、戦々恐々として今私たちは暮している。コロナ禍を文芸の主要テーマとして俳人も無関心ではいられない。時事を観る鋭い目が今ほど求められているときはない。祖国より瞬時に届くメール便り。狭い地球だと思う〕

冬温し三月（みつき）開かぬ句座恋し　須賀吐句志
大根洗ふ鼻唄で時世ふつ飛ばせ　ポンペイア
疫病の終息はいつ皆マスク
短日や早もコロナの詐欺電話　サンパウロ
視力謝し心さやかにミシン踏む
新聞はインターネットの世秋に入る
秋深むふと手がけたき刺繍編

起きてすぐ一枚羽織るそぞろ寒

〔老いの身に寒さは応える。早朝の冷えは格別だ。床の中で温まった身体を外気に晒すときのつらさは若き頃には無縁だったが、今や筋肉や体脂肪の衰えは隠しようもない。寒さはいっそう募るのである。寝巻きの上にすぐ羽織れるものと言えばセーターとかチャンチャンコ。その所作が目に見えてくる一句。もう若くはないわが身をふと思い起こさせてくれた〕

鳳仙花島倉千代子思ひけり　ポンペイア　須賀吐句志
老二人早き夕餉や葱刻む
日向ぼこ老の繰り言又続く
生きるとは生かされる事日向ぼこ
友ありてこその故郷秋深し（別稿より）
忘却とは都合良き事散る落葉（〃）　サンパウロ　広田　ユキ
日向ぼこ話題はコロナ禍に及び
腕組んで一言居士の日向ぼこ
隙間風ふさぎ合ひもし老夫婦

寄り添ふて心安らぐ日向ぼこ　サンパウロ　平間　浩二
葱ぬたのおふくろの味昭和かな
よろよろと我にも似たり冬の蠅　カンピナス　後藤たけし

一人居の移民は老いて隙間風

〔独り住まいの老移民。〈隙間風〉には来し方の諸々のことが込められている。とりわけ家族。核家族となって親元を去って行った子供たち。伴侶に逝かれて一人住まいを余儀なくされたわが身を思うにつけ、暮らしの中の隙間風は厳しさを増す。この〈隙間風〉は特別の意味を持って句を重たいものにしている。ある意味一人の人の人生を丸ごと背負っている〕

自粛とて日向ぼこりもままならぬ
白き指コツコツ葱を刻むなり　サン・カルロス　富岡　絹子
裏庭に老犬と吾日向ぼこ
鉢植の葱も痩せたり吾も痩せ
こもり居や窓に一匹冬の蠅　セザリオ・ランジェ　井上　人栄
日向ぼこ犬にも欠伸うつしけり
着ぶくれし互いを笑ふ夫婦かな
蹌踉（よろけ）いて疎まれ叩かれ冬の蠅　ファチマ・ド・スール　那須　千草
豚スキは葱は多めに味噌味で
太葱と細葱移植腰のばし
手が遅いふはりと逃げて冬の蠅　ドラードス　伊藤みち子
意気消沈痛んだ胸に隙間風
我慢どき自粛暇あり日向ぼこ

葱きざみ一汁一菜つつましく

〔季語「葱」はまさに暮しに密着した言葉だ。その語感にはえもいわれぬ親しみがある。葱は野菜の主役にはならないが、名脇役としての重みがある。葱汁や薬味としての存在感を認めないわけにはいかないし、あくまでも慎ましやかで、常に古き良き味わいを醸す、そんな句材を旨く使いこなした俳句である〕

隙間風無き家に住む日々の幸　サンパウロ　原　はる江

鉢植の葱は絶やさず母ゆずり

〔かつて離農されて町住まいとなった人たちは、庭の片隅に小さな菜園を作って手軽な野菜を植える人が多い。アパート住まいには菜園は無理だから、大き目の植木鉢に手軽に作れる葱や韮など植える。作者の母もそうして植えていた。葱は薬味にするのに沢山はいらない。母から娘に伝えるささやかな趣味、いや、小さないのちの継承と言っていいかもしれない〕

愛犬の死骸にたかる冬の蠅　サンパウロ　玉田千代美
隙間風家も古びて吾も老い

日向ぼこ大きな雲が邪魔をして

〔冬晴れと言われるも、時に悪戯をせんがために湧いてくる雲がある。「あーっ」とため息と共に恨めがましく天を見上げる。小さな雲ならどうともないが、大きな雲になるとひとまず家の中へ入って待機。通り過ぎるとまた戸外へ。雲一つが人の心を左右する。俳句に面白さが加わる〕

冬の蠅電気叩きで打ち殺す　サンパウロ　林　とみ代
開拓のランプ暮らしや隙間風
隙間風指定席てふ句座なれど
ロボットに掃除まかせて日向ぼこ　サンパウロ　鈴木　文子
焼鳥の葱の甘さを噛みしめて
こんな世にまだある幸よ日向ぼこ
この温み独り占めして日向ぼこ
プラス志向今こそ待とう天高し（別稿より）
秋桜乙女の心いつまでも（〃）　石井かず枝
背なに優し夫と読書の日向ぼこ
ビタミンDたつぷり受けて日向ぼこ
容赦なく顔に突き刺す隙間風　サンパウロ　上村　光代
青葱の収穫なりて喜びぬ
隙間風肌に冷たく吹きにけり
隙間風淋しき音を立てて行く　サンパウロ　大野　宏江
教室に誰もあらずや隙間風
窓際の日差し探して冬の蠅
九条葱束にしばられ客を待つ　サンパウロ　太田　映子
何もかも閉じてる街や隙間風
九条葱刻んで味噌汁香そえる
コロナ風日向ぼつこといふ至福
虫の声風の音にも秋澄みて（別稿より）
子が急ぐ釣瓶落としが直ぐそこに（〃）　篠崎　路子
誰彼の笑顔浮かぶや毛糸編む
若きらのマスクにファッション春近し
そそくさと立ち話おえ日短
カレンダー空白のまま五月花（別稿より）

小春日の楽しく自粛ケーキ焼く（〃）

〔気持の持ちようとはこのこと。気の沿わぬ自粛生活。どうせなら楽しく、とポジチーブに考えたいもの。普段ならスーパーで買って済ませるケーキを、この際家で作ってみようかと前向きになれるのも〈小春日〉の故。気分上々の一日のスタート、ケーキもきっと美味しく出来上がるにちがいない〕

串間いつえ

古呆けて椅子も私も日向ぼこ
年寄の年寄らしく日向ぼこ
冬の蠅板につきたる鄙暮らし　サンパウロ　田中美智子
ビタミンDたつぷり貰ふ日向ぼこ
こんな時猫がお似合ひ日向ぼこ

日向ぼこその大いなる陽の恵み

〔〈大いなる陽の恵み〉と、まるで言葉を鷲掴みするように捉える大胆さが句の全てを語る。「日向ぼこ」はそのイメージするところにふさわしい情景が詠まれるものだが、そして、かつそれらは常に類想的、類型的に甘んじてしまうものだが、このフレーズは意表をつく。「日向ぼこ」の新しい世界の展開として胸元にぐいっと突きつけられる感じだ。俳句を嗜む者として私はこの句に脱帽せざるを得ない〕

コロナ禍や弾まぬ話日向ぼこ　バルジェン・G・パウリスタ　馬場園かね

この身には此細な事よ隙間風

〔「隙間風」をとても的確に捉えて、しかも心理を浮き彫りにしている。身に起きた出来事をあえて重要視せず、静かに己を見つめている。私の好きな楸邨の名句「鰯雲人に告ぐべきことならず」と比肩しよう。ただ〈隙間風〉が語る心の中の思いには、〈鰯雲〉に比べてより強い心的葛藤がある。俳句の深みとは的確な言葉の探求に他ならないことを知らされる〕

短日や老の一徹緩みがち　イタペセリカ・ダ・セーラ　山畑　嵩
少しづつ椅子をずらして日向ぼこ
日向ぼこやはり欠かせぬ膝の猫

隙間風いのちをけずる冷たさも

〔本句も「隙間風」をテーマにしているが、単なる季語ではなく、季語の特質を象徴的に捉えている俳句の一つ。よく人との確執を隙間風に喩え、人間関係を否定的に表現することが多い。隙間風は寒い、冷たいというイメージを喚起するからである。〈いのちをけずる〉ほどの痛手を心の中に負う冷たい〝風〟とは。過酷な人間関係を想起させる〕

余生にはことさらきびし隙間風（別稿より）
余生とてやはり忙しき日短（〃）　イタペセリカ・ダ・セーラ　山畑　泰子
日向ぼこ背のぬくもりや夢さそふ
刻み葱鼻上向けて匂ふ吾子
草つぱら犬も仰向け日向ぼこ　モンテ・アレグレ　大槻　京子
人といて時に吹きたる隙間風
背を丸め絹縫ふ母や日向ぼこ
一日を軽めに生きて冬の蠅
人の背の温もり恋し冬隣（別稿より）
持て余す秋思あれこれ草の宿（〃）　ボニート　佐藤けい子
隙間風に慣れて山家の六十年
犬の耳ぴくぴく動き冬の蠅
スマホより流るる演歌日向ぼこ　トメ・アスー　三宅　昭子
猫膝に犬侍らせて日向ぼこ
日向ぼこ介護せし父母偲びつつ
究極のバケツ菜園葱太る　モンテ・アレグレ　高谷　幸子
勇気出し被るピンクの日除け帽
冷房の切れて幼子むずがりぬ

雨季明けてアマゾン農の試練時

〔アマゾン地方の雨季、当然河の増水が思われる。耕地もその影響を免れない。作物に与える損害も甚大なもがあろう。そんな雨季が明けて新たな試練をアマゾン農業は背負うことになる。一年に真夏が2回、南伯地方では想像もできない一農年。そうしてアマゾン農業を支えて来られた移住者たちの努力。労いの言葉しかない〕

三世の孫は金髪移民の日
サンジョン祭コロナ禍による自粛かな　西田はるの

天に星地に花人に秋の風

〔天を仰げば星、地を眺むれば花、そして人には何故か〈秋の風〉がふさわしい、日々のはかなさを覚えるのはまさに人であるが故と作者は言う。作者御年九十二にしてこのご心境。達観の域とお見受けした。心打つ句である〕

名月や今亡き師匠の影慕う
夜半の月煌々と宙照らしゆく
人出なく外出禁止の秋虚し
秋空や上げ膳据え膳何もせん　サンパウロ　浦野マルガリーダ
幹の間にぽつりと万両実をつけし
とろろ汁大好物の夫いずこ
日本の吾子の帰省や秋うらら
寒き夜の娘のもてなし根深汁
秋の旅見事な柿の実りかな　サンパウロ　森　律子

世の中はシナリオどおりか冬ざるる

〔世の中はままならぬもの、と普段は考えられている。思ったようにはなかなか行ってくれないのである。しかし、考えようによっては、そうなっているのがシナリオなのだと言えばシナリオだと断言することも出来る。幸も不幸も予め用意された運命で、ただ人はそれに気付いていないだけなのだ。このコロナ禍すら人類の歴史という長いレールの上にすでに組み込まれていたもの、と作者は喝破していたにちがいない。〈冬ざるる〉は〝負〟を印象させるニュアンスを含んでいる〕

季雨激し平和の街をかき乱す　ベレン　安井　信子
ブブーニャの匂い広げて家族集う
雨季夕焼コロナに勝つ日祈りけり　ベレン　渡辺　悦子
オクターブ高き囀り朝まだき
風みどり大河の波と遊ぶかに
晩年やこの灼ける地を終点に　ベレン　榎　すえ子
わが胸に残る移民史花胡椒
耕して耕して去る胡椒の地
赤道下歴史を刻む花胡椒　ベレン　大嶽きくえ
コスモスの明るく染めるわが狭庭

土匂う草取り跡を安らげば

〔伸びた草を取り除いたあとの菜園に立つと、何かしらほっとした気分にさせられる。植えられていた野菜が生き返ったように見えるからだ。草は手抜きで除かれ、根を抜くと同時に表土も弄られるので、仄かに土の匂いもしてくる。この一連の所作を手際よく、しかも余韻充分の俳句に仕上げた。下五の未然形止めの効果も見逃せない〕

街路樹の緑輝く若葉風　ベレン　岩永　節子
大潮の飛沫の朝市人の声
草引くやストレス解消秘薬なる
老移民盛えしジュートの語り草　ベレン　諸富香代子
燕子花コロナに負けずすくと立ち
コロナ禍にブーゲンベリア力なく
乾季なる家籠りして三か月　サンパウロ　日野　隆
こだわりを忘れるための冬の旅
寒椿竹筒に活け風情愛で
我が余生案じて眠れぬ冬夜長　ポンペイア　岩本　洋子
ひっそりと句を書きおれば肌寒し
好きなように暮す晩年栗の飯
雨上がり日矢のまばゆき冬の暮
草藪に色よき二輪冬のバラ
ひざ痛し寒さ身に沁む老を知る　ポンペイア　佐々木友栄
井戸涸るる永遠に涸るるものでない
川涸るるメダカの思案顔をして
自然力根を養うて葉を落す
鷹よぎるひよこは蔭に身を守る
冬のバラ心の癒し希う幸　ポンペイア　作野　敏子
滝涸れて愚痴って通る旅の人
冬の日も主婦は何かと休まれず
落葉掃く箒を杖に立ち話
目を閉じて風を聞いては散る落葉
母の日や未だ思い出す数え唄　ポンペイア　白石　幸子

水涸れて見上げる滝の高さかな

〔普段はそれほど高いとも思わなかった滝が、水涸れして水量が減ると俄然〝高い滝〟に変わる。乾季があまりにも長く続くと、時に河が涸れて小川のようになることもあるが、このような自然界の事象を詠んで巧みな一句に仕上げられた〕

風に散る落葉踏みつつ朝散歩
冬のバラいろいろな色生けられて
冬の日の熱々うどんたのしみに
大川も小川になって水涸るる　ソロカバ　住谷ひさお
四温なる日溜りに居り猫と我
亜熱帯故か朝顔冬至の庭
小春日の庭にアセロラつみて食ぶ
寒夕焼荘厳なれど淋しかり
冬のバラ一輪のみの華やかさ　コチア　椎野　薫
襟立てて時雨れてゆくか街静か
東雲の明ける朝なり枯野原
コロナマスクの黒い瞳や帰り花
シソの実や枯れてもかろき香りかな
寂とあり枯葉の落ちる音しぐれ　ヴィトリア　藤井ひろすけ
宵の夢断ち切る如く葱刻む
移り住み先ず葱植える余生かな
脇役が主役に勝る葱の味
毛糸編み無言で意思を伝えおり
毛糸編む自粛生活コロナ風邪　ヴィトリア　藤井美智子
夫と佇つ枯野ひろがる人植地
荒波を越え来てしばし冬の凪
枯野来て粗末な小屋の仮の家
冬凪や波止に暖とる老爺かな
人類の危機も知らずや冬の蜂か　ヴィトリア　久間かつ子
州を越えミナス街道大枯野
夜行バスこれより長い枯野道

州境やバイヤ草原大枯野

〔二十年ほど前バイヤ州奥地のバレイラスからバスの旅をしたことがある。周囲三百六十度が地平線という大平原。所々に育ちの悪い潅木の群があるばかり。その大地が全て枯野と化す。文明の真只中で生きている者には想像を絶する景色だ。たまに目に入る集落、住民はどのように暮らしを立てているのだろうかとふと気になる。この作者も同じような感慨を抱いたのではないだろか。もし俳句の描写に極限があるとすれば、本句はまさにその状況を詠っていよう。ただ〝素材〟があるのみ。微細なレトリックなど寄せ付けない世界なのである〕

冬凪や静かに入港遊覧船
冬凪や修道院の鐘響く

◎投句送り先
HIROSHI INA
C.P.73, Aluminio-SP
CEP 18125-000
E-Mail = hiroshina771@gmail.com

読者文芸

くろしお句会（6月分）

生きるとは生かされる事日向ぼこ　須賀吐句志
寄り添ふて心安らぐ日向ぼこ　平間　浩二
腕くんで一言居士の日向ぼこ　広田　ユキ
一人居の移民は老いて隙間風　後藤たけし
着ぶくれし互いを笑ふ夫婦かな　井上　人栄
風通し良き家故の隙間風　富岡　絹子
世の騒ぎ知らぬが仏日向ぼこ　原　はる江
隙間風家も古びて吾も老い　玉田千代美
ロボットに掃除まかせて日向ぼこ　林　とみ代
句友増えしくろしお句会冬日燦　鈴木　文子
ビタミンDたつぷり受けて日向ぼこ　石井かず枝
葱刻む煮ても生でも美味しかな　上村　光代
隙間風吹かすことなく夫の逝く　那須　千草
葱きざみ一汁一菜つつましく　伊藤みち子
コロナ風日向ぼつこといふ至福　太田　映子
窓際の日差し探して冬の蠅　大野　宏江
若きらのマスクにファッション春近し　篠崎　路子
冬の蠅ふと会者定離てふ言葉　串間いつえ
日向ぼこその大いなる陽の恵み　田中美智子
祖父の手にいつも葱あり野良帰り　馬場園かね
ガラス戸に出口さがして冬の蠅　山畑　嵩
冬の蠅身じろぎもせずうかがふ世　山畑　泰子
葱王となりし人あり移民の子　大槻　京子
隙間風つくろひ様のない地球　佐藤けい子
天国の夫へのメール恋人の日　三宅　昭子

木陰・みちのく句会（6月分）

冬温し三月開かぬ句座恋し　吉田しのぶ
力瘤くつきり冬着の男ぶり　猪野ミツヱ
百歳でコロナ克服姥の秋　香山　和栄
据膳の梅干ひとつ冬至粥　湯田南山子
寒菊や一輪二輪咲き初めし　寺師　幸子
色づきて秋の訪れ知らせおり　伊藤きみ子
秋深し恵みの弁当くばられし　杉本　鶴代
とりどりのファッションと化すマスクかな　鈴木　文子

読者文芸投稿募集

◎E・メールでの投稿を歓迎します。
◎送り先はニッケイ新聞「読者文芸欄」係まで。
◎Eメール:bunguei.nk @gmail.com

ニッケイ歌壇（607）

上妻博彦 選

太陽の西に傾く頃おいゆ夕凪ならぬ南風つのる
マスカラにサングラスかけのいでだちはいずこの誰やら一寸とも分からず
心待つ日本からの募集案内この年なかば未だ音なし
コロナ禍にリベロンピイレスの俳句会その日も過ぎていまだ音なし
上妻宛の歌壇の送り先番地忘れて戻り帰しあゝ

ソロカバ　新島新

「評」こうしたまとまった作品を送ってくれると頭を垂れるのみである。小生は好きを通り越して二日酔いで翌日頭が上がらなかった事が度々ではなかった。

世界一もいろいろあるが北米と一・二を競うコロナの災禍
ウイルスの患者が減った訳でないがまた通常に戻りしと言う
通常に戻りし途端に此の人出マスクはしても鼻より下に
この所コロナウイルスの故だろう郵便物の遅れが酷いよ

「評」５首目４首目は文字が判明せず次回に回されたい。ここでは没にした。

マナウス　田口光之助

卒寿すぎ、親のスパルタ、身がおぼえ、月月火水木金金。特攻の、死にそこないも、コロナばかりは、マスクだけでも、手も足も出ぬ。
ながいきも、白寿まではと、思えども、コロナ怪威で、予定くるわす。

「評」この作品に接し先ず胸に迫り、一首目の「金金」に続かず絶句してしまった。親のスパルタ現今の若者には説明が必要だと思う。句読点を打ってまで当時の教育を強調している。生身の若者を国に捧げる、親の本懐ではなかったはずだ。そこを「特攻の死にそこない」と九十歳を過ぎた本人が吐露している。そして今、アマゾンのコロナウイルスのただ中で白寿を思う。この歴史の中の一点でこそ、祈りを捧げずにいられようか。

サンパウロ　安中攻（近作十二首）

カラオケに共に歌いし友は亡く途絶えてしまいし楽しかりし日
中東の紛争今も続けるや向に赴任せし人を偲びぬ
のどかにも町並み映えしパラナ河渡し船待つ川境の町
病押し無理して逢いに来たと云う叔母をいたわり話はづみぬ
地下鉄が地上に顔だす駅のもとパイネイラ大樹あざやかに咲く
青い紙めくるごとくに寄する青い波大らかなるや潮騒の音
日毎増すコロナウイルス死者の数テレビの前で怖さおののく
雨期到来芝生も木々も緑まし息吹を返すごとく映えいし
剪定の経験もたぬ我なれどプリマベーラは見事に咲きぬ
みどり葉に朝露一滴残りしか頭に落ちて眠気飛び去る
散歩道昨夜の雨に流されて敷石模様くっきり見える
新緑のグワラピンガの湖畔にて息子を誘いキャッチボールす
我が友は田舎の町に引っ越すと電話にて住所教へてくれし

「評」こうした作品をコンピューター（タブレット）面から筆写することの困難さを知りながら、この機器をマスターする意思もないままの自身にあきれもしない不思議。

サンパウロ　安中攻

緑濃き中に黄色の花冴えて朝の散歩に活気あふるる
味噌汁の味みてくれと言う妻と二人並んで朝の食卓
我が青春慣れぬ異國で淋しさも戸惑いもあり今は懐かし
青空と浮雲見上げ散歩する日系新聞なくなり淋し
哀しみのつのる映画の思い出は本でも読んだ野菊の墓を

「評」この人の作は泉のわき出る様で次々と送られて来る、小生の所で堰き止めて置く事はできない。工夫して調節しながら発表するしかない。この度の災禍で多くの人がストップしているので五首づつ続けます。

ポンペイア　須賀得司

コロナビールス世界第二に踊り出て以後の累計公表差止めとかや
移る世にパソコンメール・スマホンと老いは馴染めず受話器一と筋
呆けまじと老に鞭うち勤む趣味上達はるか忘れ字多く
三世の時代とならぬ吾が家系市（まち）のあちこち見ゆる看板
読書の目癒やさむとして庭に停つ植木それぞれに思い出のあり

「評」すでに米寿の人、漢籍なども読まれる人と思う、戦後の学制改革に翻弄されていない日本人と言いたい。これからもいい作品を読ませて頂きたい。

グアイラ　影山孝

コロナより政治家たちが恐ろしい我らの國はどこへ行くやら
けんかなどやめて下さい政治家よコロナに負けたら市民どうする
我々は前代未聞の時代（とき）を生く前代未聞の政治家たちと
コロナより政治家恐ろし政治家よしっかりたのむよ市民のために
幸福なハトの歌声うらやまし人がコロナを愁いていれば

「評」子供移民と言う言葉をこの国に使うのは大先輩清谷益次氏ではなかったかと記憶する。ともあれ、連れられて渡伯した人達が日本に帰るのだからと言われ、日語に打ち込んで短歌も勉強した。作品に芯が通っている。

サンパウロ　相部聖花

久しぶりにガス車の音楽聞こえ来て平和なる世のまえぶれとも聞く
挿し木して幾年経つやもくせいの今年の花の香り新し
必需品娘が届けてくれ不足なき日々を通せる幸せ思う
生かされて生きる術をば学びつつ初体験の余生を生きる
日光浴夏の日思わす強力な冬日を浴びて庭に坐すなり

「評」理に傾くことをさけ自身の置かれたその時を肯定的に詠みつなぐ作者、自然一致融合した行為の歌これがいま追求される共存の歌。一首、四首などに特に心に沁みる。

グワルーリョス　長井エミ子

溜息を漏らすが如しユーカリはひと葉ひと葉をそっと手放す
冬来るをどの木も気づきぬるらしき落葉の厚み今朝は増したる
逃げもせで小首傾ぐる今朝の鳥私と同じ寂しさ持つや
置き捨てし記憶開（あ）くよな満月は衣脱ぎ捨て昇りきたりぬ
何トナク不可解ナリテ世ノ中ハドンドコドト太鼓叩コウ

「評」己の心象を具象化して自然の営みに重ねて作品とする旨さがある。日頃のデリケートな観察と対象への語りかけを忘れない作者であるのだろう。

グワルーリョス　長井エミ子

みの虫のポツンと垂れたあかときのまだ解除せぬコロナウイルス
何処までもコロナウイルス流るるやたより届かぬ秋の日暮るる
切り出しの石ころみたいだったんだ空など見あぐる心なき頃
祖母の居て母の居た頃幼児はレンゲ畑の中に座したり
我が胸をさいなむものはただ一ツ子等のふる里残さなき事

「評」過去の心象風景を一首に組み立てることが出来たのは此度のコロナウイルスのもたらしてくれた恵と考えればコロナと共存の可能な一角を得たと見るべきだと思う。３・４首の作に心引かれる。生の原稿を（卦）を長女が運び届けてくれ大助かり、現住所への郵便は未だ一通も届かない。

◎投句送り先
HIROHIKO KOZUMA
Rua Maria Maffei de Souza Campos, 72
Jardim Alto das Araras SP
CEP 13604-120
TEL: 11-95058-5986

沖縄全戦没者追悼式

生きた「あなた」に感謝
平和つなぐ決意、高良さん

【共同】戦禍を生き延びたあなたのおかげで今がある―。沖縄県立首里高３年の高良朱香音さん（17）は、平和の詩「あなたがあの時」に感謝とバトンをつなぐ決意を込め、２３日の沖縄全戦没者追悼式で、会場の一人一人に語り掛けるように、ゆっくりと読み上げた。

高校１年のころ、平和学習で入った激戦地の壕。真っ暗闇での経験から、当時を生きた人々に思いをはせた。迫り来る悲劇を知らなかった幼子や、独りぼっちになった少年、少女。敵から隠れるため母親が泣いた赤ん坊の殺害を強いられる中、声を上げずに助かった子。捕虜になるなとの教えに背き、少女に投降を促して命を救った人…。「ありがとう」。命がつながれて自分が今ここにいること、生き残った人たちが今の沖縄を築いてくれたことに、感謝の思いが込み上げた。

特定の人ではなく、聞かせてもらった体験談などから想像した「あなた」。これまで体験者に寄り添う受け身の姿勢だったが、自身の立場から沖縄戦を振り返り、彼らに何を伝えられるか考えた。「悲惨な時代を生き抜いた人たちの気持ちが、少しでも楽になれば。真っすぐに届いてほしい」

声を発する側になり「同世代の人とも、平和について話せるようになったらいいな。詩を聞いて思うことがあれば、発信してほしい」と願う。

希望の光を消さない、消させない―。託されたバトンをどうつないでいけるか、模索している。

沖縄全戦没者追悼式で、平和の詩を朗読する高良朱香音さん＝２３日午後、沖縄県糸満市の平和祈念公園（共同）

「最大限の性能引き出す」
富岳世界一で理研理事長

【共同】新型スーパーコンピューター「富岳」が計算速度ランキング「ＴＯＰ５００」など４部門で世界一となったことを受け、理化学研究所の松本紘理事長が２３日、富岳が設置された理研計算科学研究センター（神戸市）で記者会見し「ほっとしたと同時に大変うれしい。今後も最大限の性能を引き出す努力を続けたい」と話した。

松岡聡センター長は「（先代のスパコン）『京』よりも省電力にしないといけないが、性能を犠牲にはできなかった」と開発の難しさを振り返った。今後は「世界最大の人工知能（ＡＩ）の基盤として活躍するだろう。新しい医薬品や太陽電池など、富岳があって初めてできる成果を国民に届けることに注力したい」と展望を述べた。

富岳を理研と共同開発した富士通の時田隆仁社長はオンラインで会見に参加し「改めて日本の技術力とものづくりの強さを世界に示した。富岳の整備に全力を尽くし、持続可能な社会の実現に貢献したい」と語った。

富岳は昨年運用を終えた京の後継機として開発され、２０２１年度中に本格稼働する予定。今年４月からは新型コロナウイルス関連の研究のため試験稼働している。

富岳は富士山の異名。世界に誇る高い性能を持ち、広い裾野のようにさまざまな用途に使ってほしいとの願いが込められている。

新型スーパーコンピューター「富岳」と記念撮影する理化学研究所の松本紘理事長（共同）

平安京最大級の庭園池
藤原良相邸宅跡、幅４３メートル

【共同】平安時代の右大臣、藤原良相（８１３～８６７年）の邸宅跡とされる京都市中京区の発掘現場で幅４３メートルもある大規模な池の遺構や溝跡が発見され、京都市埋蔵文化財研究所が２３日、発表した。同研究所は「池は９世紀後半の平安京の貴族邸宅では最大級で、小石を敷き詰めた州浜を備えた優美な姿。池が二つもあり、庭園重視の邸宅」としている。

平安貴族の住宅様式・寝殿造りは１０世紀以降に成立するとされ、池の北側に主殿を配置する。今回、池の北側から見つかった建物跡は幅１２メートル、奥行き7・5メートルと比較的小さく、池の南東に主殿があった可能性があり、近畿大の網伸也教授（日本考古学）は「寝殿造り成立前の貴族の邸宅を知る上でも貴重な成果」と評価している。

良相は兄の藤原良房政権で実力を誇った人物。平安時代の歴史書「日本三代実録」には、８６６年に清和天皇が良相邸を花見に訪れ、文人を集めて詩を詠ませたとの記述も残る。邸宅は「百花亭」とも呼ばれていた。

新たに発掘された西側の池は、東西約４３メートル、南北約２７メートル以上で、邸宅の主要な池とみられる。水際は小石を敷き詰めた州浜となっていた。以前の調査でも邸宅の東側で池が見つかっており、今回の発掘調査で二つの池を結ぶ長さ約４８メートルの溝が確認された。

研究所によると、東の池は西の池より高い位置にあり、東の池がいっぱいになったときだけ、上澄みの水が西の池に流れる構造で、担当者は「小川のような清らかな水の流れを楽しんでいたのでは」と話す。

邸宅は平安宮近くの一等地にありながら、敷地は１２０メートル四方と広大だった。北半分の発掘が終了したが、南半分は未調査。これまでに和歌とみられる平仮名が書かれた９世紀後半の土器が発掘されており、平仮名の発見としては最古級という。今回は大学キャンパスの建設整備に伴い発掘、遺構は地中に保存される。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、現地説明会は開かれない。

沖縄

碑の名なぞり「来たよ」
マスク姿、雨空に孫たちと

【共同】「また来たよ」。沖縄県糸満市の平和祈念公園では、遺族が石碑「平和の礎」に刻まれた沖縄戦の犠牲者らの名を指先でなで涙を浮かべた。時折、雨と雷鳴に見舞われたが、孫とともに「繰り返さない」と誓う高齢者も。新型コロナウイルスの影響でマスク姿も目立った。国内の米軍専用施設の７割超が集中する現状に「痛みを考えて」と訴える声も聞かれた。

「子どもたち、孫たち成長しているよ。戦争のないようにしたいね」。宜野湾市の知念康子さん（８２）は家族１５人ほどで、父や祖父母の名に手を合わせた。戦時中に防衛隊員だった父は、本島で米軍の攻撃を受け亡くなった。知念さんら家族は、本島北部の山中を逃げ惑った。孫で高校１年の宮城愛花さん（１５）は「おばあちゃんが耐え抜いたから今の私たちがある」。孫の中学３年久場碧葉さん（１４）は「つらい経験は聞きにくいが、未来に残さないといけない」と話した。

時折激しい雨が降り、湿気を含んだ風が最後の激戦地だった公園付近を包んだ。三線の優しい音色も響く中、遺族らは礎に刻まれた大切な人の名を捜していた。「平和の火」の前で手を合わせる子どもたちの姿もあった。

那覇市の赤嶺清光さん（８１）は父松蔵さんと姉スミ子さんの名を前に「今日も来たよ」。２人を慈しむようにコーヒーを掲げた。スミ子さんは本島北部で家族と壕に逃げ込もうとした際、約２メートル後ろで艦砲射撃の破片を受け即死。母が駆け寄り、泣き崩れる姿が目に焼き付いて離れない。

身元不明者の遺骨が納められた糸満市の「魂魄の塔」。家族３人で訪れた豊見城市の比嘉徹さん（７６）は当時１歳で父が犠牲に。「墓には遺骨の代わりに石を入れた。記憶はないが、生きていたらどんなおやじだったかと思うと悔しい」。線香の煙の中、ビールや黒糖を供え手を合わせた。

本土防衛のための「捨て石」とされた沖縄。今も名護市辺野古沿岸部で米軍普天間飛行場の移設工事が進む。戦禍で父を失った南城市の大城昌清さん（７８）は「二度と戦争を起こさないでほしい。日本政府には沖縄の痛みを考えてもらいたい」と訴えた。

聖地大巡礼、大幅縮小
コロナ対策でサウジ

【ドバイ共同】サウジアラビア巡礼省は２２日、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、７月下旬に始まるイスラム教最大の聖地、西部メッカへの大巡礼（ハッジ）の参加者を一部の国内居住者に限定し、規模を大幅に縮小すると発表した。国営通信が伝えた。

ハッジは例年、世界各地の信者２００万人以上が集う重要行事。安易に中止すれば、サウジの「聖地守護者」としての正統性を揺るがし、イスラム社会への影響力も低下しかねない。規模は縮小しても、威信をかけ実施にこだわった。

「静かな環境作り努めた」
武漢チャーター機乗務員

【共同】新型コロナウイルスの感染拡大で封鎖された中国・武漢から滞在邦人らが退避した日本政府チャーター機を運航した全日空の機長ら５人が２３日、東京都内の全日空本社で報道各社の取材に初めて応じた。

第１便でチーフパーサーを務めた客室乗務員石黒麻里子さん（４９）は「無事にお連れするのが使命。お疲れの方が多く、静かな環境作りに努めた。混乱はなく、むしろ感謝の言葉を頂いたのが印象的だった」と振り返った。

第１便の支倉暢彦機長（５２）は、武漢の空港で出発の許可に時間がかかり、予定より遅れたと明らかにし「自分の力が及ぶ範囲でフライト時間を短縮した」と述べた。

チャーター機運航の現地責任者を務めた武漢支店空港所の鶴川昌宏所長（５２）は「なるべく緊張しないで笑顔で行こう」と心掛けたという。邦人は、緊迫した雰囲気の空港で寒い時期に長時間待つことになったのに整然とした様子だった。鶴川さんに励ましの言葉もあり「勇気をもらった」。石黒さんによると、第１便に搭乗した邦人は、疲れのためか、出発後すぐに就寝する人が多かったという。

到着した邦人らの羽田空港での受け入れ態勢を整えた汲田茉莉子さん（３４）は「快適に過ごせることを重視した」。武漢で中国人配偶者らのサポートをした王申元さん（５０）は、日本語と中国語を使い対応し「情報を理解してもらうのに努めた」と話した。

チャーター機は１～２月にかけて、ボーイング７６７で５便が運航。計８２８人が日本に戻った。

外務省は２３日、チャーター機運航に関し、全日空に感謝状を授与した。茂木敏充外相は「不安や危険が伴う中、全力でオペレーションに従事した勇気と貢献に感謝したい」と述べ、全日空の平子裕志社長は「初便は手探り状態だった。無事に完遂でき光栄」と応じた。

世界最小の恐竜卵を発見
わずか１０グラム、兵庫の地層

【共同】世界最小となる小型恐竜の卵の化石を、兵庫県丹波市にある１億１千万年前（白亜紀前期）の地層から発見したと、筑波大や兵庫県立人と自然の博物館の研究チームが２３日発表した。殻の構造などからティラノサウルスなどと同じ獣脚類に属する恐竜が産んだ新種の卵と確認された。

VENDA em BANCA

Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

ANO XXIII – Nº 5513 SÃO PAULO, QUARTA-FEIRA, 24 DE JUNHO DE 2020 R$ 5,00

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
開運 沼矛八方祓（ぬぼこ はっぽうばらい）
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 – www.temploxintoista.org.br

沖縄戦終結75年、不戦誓う

平和願う心 被爆地と共有
「慰霊の日」犠牲者追悼

【共同】沖縄県は23日、太平洋戦争末期の沖縄戦で命を落とした20万人超を悼む「慰霊の日」を迎えた。75年前のこの日、旧日本軍が組織的戦闘を終えたとされる。最後の激戦地、糸満市摩文仁の平和祈念公園で、県などが主催する沖縄全戦没者追悼式が営まれた。玉城デニー知事は平和宣言で、人類史上他に類を見ない惨禍を経験した被爆地の広島、長崎と「平和を願う心を共有する」と訴え、不戦を誓った。

コロナ影響、首相招かず

今年は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小し、安倍晋三首相の招待は見送った。安倍首相と、戦後75年の節目で初めて招かれる予定だった広島市の松井一実市長、長崎市の田上富久市長、国連軍縮担当上級代表の中満泉事務次長はビデオメッセージを寄せ、国際平和の実現に向けた連携などを呼び掛けた。

追悼式では、遺族ら約160人が感染防止のため間隔を空けて着席し、正午に1分間黙とうをささげた。会場の周囲にも静かに祈る人の姿があった。玉城氏は「この島が平和交流の拠点となるべく全身全霊で取り組んでいく」と表明した。

沖縄には現在も国内の米軍専用施設の7割超が集中し、米軍による事件や事故が相次ぐ。首相はビデオ映像を通じて「基地負担の軽減に向け、確実に結果を出す決意だ」と述べた。

県立首里高3年高良朱香音さん（17）は詩を朗読し、平和をつなぐ決意を示した。

公園内の石碑「平和の礎」には、軍民や敵味方の区別なく戦没者の氏名が刻まれている。今年は30人追加され、総数は24万1593人となった。

沖縄では、県民の4人に1人が犠牲になった。戦後は、1972年に本土に復帰するまで米施政権下に置かれ、米軍基地が次々と建設された。

基地のうち、普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設を巡っては、昨年2月の県民投票で反対が7割超となり、今月7日の県議選でも移設に反対する勢力が過半数を得た。一方、政府は移設を進める姿勢を崩さない。

沖縄全戦没者追悼式で、献花を終えた沖縄県の玉城デニー知事（右）＝23日午後、沖縄県糸満市の平和祈念公園（共同）

「安倍氏が最も関係構築」
米大統領巡りボルトン氏

【ワシントン共同】ボルトン前米大統領補佐官（国家安全保障問題担当）は23日出版の回顧録で「世界のリーダーでトランプ大統領と最も個人的な関係を築いているのは安倍晋三首相だ」との考えを示した。

ボルトン氏は安倍、トランプ両氏の関係を「同僚であると同時にゴルフ仲間」と指摘。英国でジョンソン氏が首相になり「同列首位となった」と説明し、安倍、ジョンソン両氏がトランプ氏と最も親密な関係を築いているとの見方を披露した。

トランプ氏は安倍氏の父親の晋太郎氏が神風特攻隊に志願したことに言及するのを好み「日本人や、特に安倍氏がどれほどタフかを示そうとした」と振り返った。

回顧録には安倍氏の名前が100回以上登場する。ボルトン氏が大統領補佐官として再び公職に就き、安倍氏が「お帰りなさい」とあいさつしたことも好感を持って描写。安倍氏とは15年以上前からの知り合いだと明かした。

首都の行方 特派員も注目
コロナや五輪、世界的論点

【共同】7月5日投開票の東京都知事選では、新型コロナウイルスや東京五輪・パラリンピックなど、世界的にも注目を集めるテーマで論戦が交わされている。日本を取材する海外メディアの記者は、首都・東京の将来を占う選挙をどのように見ているかを聞いた。

新型コロナを巡る東京都などの対応について、フランス出身で、AFP通信を経て現在はフランス公共ラジオの東京特派員西村カリンさん（50）は「発令した『東京アラート』を解除した後、新規感染者数が基準を上回っても再発令しておらず、論理的ではない」と指摘。韓国メディアの東京特派員も「五輪の延期決定前は検査数を抑制していたのでは、という見方もあった。PCR検査や感染者らの行動履歴の追跡を徹底するのではなく、政治的判断で自粛要請を強めたり緩めたりしている」と分析した。

東京都の小池百合子知事のコロナ対応について2人は「メディアへの露出をうまく利用し、表向きはリーダーシップを発揮しているように見せている」と口をそろえた。

五輪については、西村さんは「開催、中止いずれの場合でも、都知事は世界に対して詳細な説明責任を負う」と主張。韓国メディアの特派員も「開催都市のトップとして、多様性や調和といった五輪のテーマを政策に反映しているかが、世界的な評価対象になる」としている。

東京を「治安の良さは世界的にも優れている」と評価する西村さんの気掛かりは、市民の選挙への関心の低さ。「国や大都市でも、動かすのは自らの投票。日本人は『1人では何も変わらない』とよく言うが、投票の重要性を理解するべきだ」と話している。

日本スパコン9年ぶり1位
理研「富岳」が世界初4冠

【共同】世界のスーパーコンピューターの性能を比べる専門家のプロジェクト「TOP500」は22日、最新の計算速度ランキングを発表し、理化学研究所計算科学研究センター（神戸市）の新型機「富岳」が世界一に輝いた。計算速度は毎秒41京5530兆回で前回王者の米国のスパコンを大きく引き離した。日本勢の1位は昨年に運用を終えた理研の「京」が2011年に達成して以来9年ぶり。理研によると、富岳はその他3部門でも1位となり世界初の"4冠"達成となった。

その他3部門は、産業利用でよく用いる計算手法の性能、人工知能（AI）の分野で使う計算の性能、ビッグデータ解析の指標となる解析性能。

スパコンは科学研究や産業、軍事技術の開発で用いるシミュレーション（模擬実験）の重要基盤。理研計算科学研究センターの松岡聡センター長は「主要なスパコンの諸元（性能）で突出して世界最高性能であると示せた。新型コロナウイルスに代表される多くの困難な社会問題を解決していくだろう」との談話を公表した。

昨年11月の前回ランキングで1位だった米オークリッジ国立研究所の「サミット」（毎秒144京8600兆回）の約2・8倍の高性能と認められ、サミットを2位に退けた。

3位は米国、4位と5位は中国のスパコンが入った。日本勢で10位以内は富岳だけで、12位に産業技術総合研究所の「AI橋渡しクラウド」、19位に東京大と筑波大の「オークフォレスト・パックス」（いずれも千葉県柏市）が入った。

理研と富士通が手掛けた富岳は昨年夏に運用を終えた京と同じ計算科学研究センターに設置され、今年5月に全ての装置の搬入を完了した。試験利用として新型コロナの研究が始まっており、本格稼働は21年度の予定。

藤井七段、王位挑戦者に
棋聖とダブルタイトル戦

第61期王位戦挑戦者決定戦に勝って二つ目のタイトル挑戦権を獲得し、心境を語る将棋の藤井聡太七段＝23日夜、東京都渋谷区の将棋会館（共同）

【共同】将棋の藤井聡太七段（17）は23日、東京都渋谷区の将棋会館で指された第61期王位戦挑戦者決定戦で永瀬拓矢二冠（27）を破り、挑戦権を得た。8日に開幕した棋聖戦5番勝負で、17歳10カ月20日の最年少挑戦を成し遂げており、二つ目のタイトル戦登場となった。

藤井七段は棋聖戦の挑戦者決定戦に続き、強豪の永瀬二冠に連勝した。王位戦7番勝負に向けて、「（2日制の）持ち時間8時間は指したことがない。じっくり考えられるのは楽しみです。しっかり準備していい将棋を指したい」と話した。

王位戦7番勝負は7月1日に始まり、昨年、最年長で初タイトルを奪取した木村一基王位（47）と対戦する。両者は公式戦で初顔合わせとなる。

藤井七段は棋聖戦5番勝負第1局で、屋敷伸之九段（48）が1989年に樹立した最年少挑戦記録を4日更新。三冠を持つ渡辺明棋聖（36）に勝ち、タイトル戦で初勝利を挙げた。

最年少でのタイトル獲得は、屋敷九段が90年の棋聖戦で達成した18歳6カ月。並行して行われる王位戦、棋聖戦のいずれかでタイトル保持者に勝った場合は、奪取の記録も上回る。

藤井七段は2016年10月、最年少の14歳2カ月でプロ入り。17年6月にはデビューから無敗で最多の29連勝を達成するなど、数々の最年少記録を打ち立てた。

シャンシャン、お久しぶり
上野動物園4カ月ぶり再開

【共同】新型コロナウイルスの影響で休園していた上野動物園（東京都台東区）が23日、約4カ月ぶりに営業を再開し、ジャイアントパンダの子どもシャンシャン（香香、雌3歳）も公開された。感染防止のため当面、開園時間は午前10時～午後4時と通常より短縮し、事前予約制で入園者を1日4千人に制限。見学者が滞留しないようパンダ舎内の撮影は禁止される。

園は15分ごとに200人入場させるため、時間を指定した整理券を発行。ゲートが開くと、パンダグッズを持ったファンが弾んだ足取りでパンダ舎へ。シャンシャンはハンモックの上で竹を食べたり水浴びを楽しんだりし、元気な姿を見せた。

一番乗りしたのは休園までシャンシャンを目当てにほぼ毎日通っていたという練馬区の会社経営川添尚子さん（53）。「再会を心待ちにしていた。シャンシャンはこちらを不思議そうに見て、あいさつしに近くに来てくれたように感じた」と興奮気味だった。

上野動物園は2月29日から休園。冨田恭正副園長は「再開でき、ほっとしたと同時に、来園者と飼育員を絶対に感染させたくないと気を引き締めた」と話した。今後は感染状況に応じて来園可能な人数を拡大する方針。

シャンシャンは12月末までに中国に返還される予定。新型コロナの影響で中国との交渉が滞っており、具体的な時期は決まっていない。

営業を再開した上野動物園で久々にお目見えしたジャイアントパンダのシャンシャン＝23日午前、東京・上野（共同）

世界の感染者9百万人超す
拡大ペース、過去最悪

南北米大陸で勢い増す

【ジュネーブ共同】米ジョンズ・ホプキンズ大の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が22日、世界全体で900万人を超えた。米国やブラジルをはじめとする南北米大陸での拡大が勢いを増しており、過去最悪のペースで感染者が増え続けている。死者は47万人を上回っている。

感染者は4月2日に100万人を超えて以降、12～13日ごとに100万人増えてきたが、5月21日に500万人を上回ってからペースが加速。今回は6月16日に800万人を超えて6日しかたっておらず、これまでで最も短い日数で100万人増加となった。

感染者は、2700万件近いウイルス検査を実施済みの米国で最も多く確認されており、約230万人。ブラジルも100万人を超え、ロシアが60万人近い。インドは40万人台、英国が30万人台に上っているほか、南米のペルーとチリが25万人前後にまで急増してきており、計10カ国が20万人を上回っている。

世界保健機関（WHO）の21日付状況報告によると、前日から増加した感染者は18万3千人で、1日当たりとして18日付報告で記録した過去最多を更新。うちブラジルが30%、米国が20%に上っている。世界全体では米州地域事務局管内（南北米大陸）が感染者の49%、死者の48%を占め、いずれも世界最多となっている。

WHOのテドロス事務局長は19日に「世界は危険な新局面に入った」と危機感を表明。外出制限の解除や経済活動再開に向けた動きが各国で見られる中、世界的な流行は依然続いているとして一層の警戒を呼び掛けていた。

新型コロナ再感染しない？
東大、ハムスターで実験

【共同】新型コロナウイルス感染後に回復したハムスターは再び感染することはなかったとする実験結果を、東京大医科学研究所の河岡義裕教授らのチームが22日付の米科学誌電子版に発表した。検査で陰性になった後に再陽性となる人が相次いで報告されているが、再感染を否定する内容。米国でもサルが再感染しなかったとの報告がある。日本国内の動物実験で確認されたのは初めて。

再陽性と判定される患者がいる理由について、河岡教授は「（陰性となったのは）たまたま調べた検体の中にウイルスが含まれていなかっただけではないか。短期間では人でも再感染しないだろう」とみている。

チームは新型コロナ感染症になった場合に人と近い症状が出るハムスターで実験。感染から20日たち既に回復した6匹と、感染したことのない3匹の鼻からウイルスを注入した。すると未感染の3匹は発症し、呼吸器から高濃度のウイルスを検出したが、回復した6匹からは検出されなかったため「再感染しない」と結論付けた。

また、回復したハムスターの血液成分を感染初期のハムスターに投与したところ、多くのハムスターでウイルス量が減った。回復者の血液に含まれる抗体を使う「血清療法」は海外で治療に用いられており、効果があったとする報告もある。河岡教授は「血清療法でウイルスの増殖を防げる可能性が高いことを示せた」としている。

中国版GPS網完成
衛星打ち上げに成功

【北京共同】中国は23日、独自の衛星利用測位システム（GPS）「北斗」を構成する55基目の衛星打ち上げに成功し、ネットワークを完成させた。国営通信新華社が報じた。計画より半年早い完成。既に全世界で運用を始めており、北斗の精度を上げ米国のGPSに対抗する狙いがある。

中国は2035年を目標に北斗を国全体で活用する計画を掲げている。高速大容量の第5世代（5G）移動通信システムと組み合わせることも検討。国民の監視や軍事分野にも利用できるため、欧米各国は警戒を強めそうだ。

新華社などによると、北斗の安定的な運用を確認できれば全世界で高精度の位置情報の提供を7月にも始める予定。短文の通信や場所の精密な特定も可能になる。

中国は巨大経済圏構想「一帯一路」の参加国に北斗の使用を呼び掛けている。現在、世界の半数以上の国が北斗を利用。新華社は、中国が新型コロナウイルスの感染者急増に対応するため突貫工事で臨時病院を建設した際、北斗を活用したと伝えた。

衛星を載せたロケットは23日午前、四川省の西昌衛星発射センターから打ち上げられた。当初16日に予定していたが、技術的な問題が見つかり延期していた。

中国は12年からアジア太平洋地域で北斗の運用を開始。18年12月から全世界を対象に位置情報の提供を始めた。北斗の精度は昨年12月の時点で誤差5メートルに向上していた。

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória, 332, Liberdade
Cep 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
TEL: (11) 3340-6060 | FAX: (11) 3341-6476
Site: www.nikkeyshimbun.jp
Facebook: www.facebook.com/Nippak.Nikkey
Diretor Presidente: Raul M. Takaki
Jornalista Responsável: Takao Miyagui - MT 15.167-SP
Redator: Masayuki Fukasawa
記事に関するご意見
Redação: redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡
Assinatura: nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡、問い合わせ
Publicidade: anuncio@nikkeyshimbun.jp
Periodicidade: diária (terça-feira a sábado)
Assinatura Impressa
R$ 840,00 (anual) | R$ 450,00 (semestral)
Assinatura Digital (PDF)
R$ 330,00 (anual) | R$ 170,00 (semestral)